

28.あなたがた信仰する者よ、アッラーを畏れ、かれの使徒を信じなさい。かれは倍の慈悲を授け、また光明をあなたがたのために蝕け、それで（正しい道を）歩ませ、またあなたがた（の過去の罪業）を赦される。本当にアッラーは寛容にして慈悲深くあられる。

29.アッラーの恩恵をかれらが少しも左右出来ないことを、また恩恵はアッラーの御手の中にあるということを啓典の民は知るがいい。かれの御心に適う者は、それを授かる。本当にアッラーは偉大な恩恵の主である。

## SURA 58.抗弁する女章〔アル・ムジャーダラ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1.アッラーは、自分の夫に就いてあなたに抗弁し、なおアッラーに不平を申し立て（祈）る女の言葉を御聞きになられた。アッラーは、あなたがた二人の議論を御聞きになられた。本当にアッラーは全聴にして全視であられる。

2.あなたがたの中で、ズィハールによって、その妻を遠ざける者がある。しかしかの女らはかれらの母ではない。母はかれらを生んだ者以外にはないのである。実にかれらの言うことは不法な、虚偽の言葉である。本当にアッラーは寛容にしてよく罪を赦される。

3.ズィハールを宣言してその妻を遠ざけた者が、後にその言ったことを撤回しようとする時は、両人が栗に触れる前に、一人の奴隷を解放しなければならない。これは、あなたがたに戒告されたことである。アッラーは、あなたがたの行うことを熟知なされる。

4.しかし（解放する奴隷を）持たない者は、両人が栗に触れる前に、2ヶ月続けて齋戒しなさい。それをなし得ない者は、60人の貧者に食を与えなさい。これは、あなたがたにアッラーと使徒を信じさせるためである。これらがアッラーの掟である。不信者に対しては痛ましい懲罰があろう。

5.本当にアッラーと使徒を拒否する者は、かれら以前の者たちが、卑しめられたように卑しめられるであろう。われは明白な印を下している。不信者に対しては、恥すべき懲罰があろう。

6.その日アッラーはかれらを一斉に甦らせ、かれらの行ったことを告げられる。かれらはその事を忘れていたが、アッラーはそれを計算に入れられる。本当にアッラーは凡てのことを実証される御方である。

7.あなたは、天地にある凡てのものをアッラーが知っておられることを知らないのか。3人で秘密の相談をしてもかれは4人目に常におり、5人の時もかれらの6人目に常におられる。それより少くともまた多くても、かれらが何処にいようと、かれはかれらと共におられる。それで審判の日には、かれはかれらの行ったことを、かれらに告げられる。本当にアッラーは凡てのことを熟知なされる。

8.あなたは、秘密の相談を禁じられた者たちが、その後禁じられたことに返っているのを見なかったのか。かれらは罪悪と敵意と使徒への犯意とで、密議したではないか。またかれらがあなた

のもとに来た時、アッラーがあなたに対して決して挨拶されなかった言葉（死を意味する呪いの言葉など）で、あなたに挨拶しておいて（罵って）からかれらは仲間うちで、「何故アッラーは、わたしたちの言ったことを罰さないのだろうか。」と言う。かれらには地獄で十分である。かれらはその中で焼かれよう。何と悪い帰り所であることよ。

9.あなたがた信仰する者よ、あなたがたが秘密の相談をする時は、罪と敵意と、使徒への犯意とで密議してはならない。善意と敬神の念をもって相談しなさい。アッラーの御許に、あなたがたは集められるのである。かれを畏れなさい。

10.秘密の相談は、悪魔による（示唆）だけで、信仰する者たちを悲嘆させるためのもの。だがアッラーの御許しがない限り、少しもかれらを害することは出来ない。それで信者たちに、アッラーを信じさせなさい。

11.あなたがた信仰する者よ、集会のおりに（広く）席をあげなさいと言われた時は、直ぐ席を譲れ。アッラーはあなたがたのために（十分な）席を与えられる。また立ち上るよう言われた時は、直ぐ立て。アッラーはあなたがたの中信仰する者や、知識を授けられた者の位階を上げられる。本当にアッラーは、あなたがたの行う一切を熟知なされる。

12.信仰する者よ、あなたがたが使徒に私的な相談をする時は、相談を始める前にまず施し〔サダカ〕をしなさい。それはあなたがたのために最も良く、また最も清廉なことである。もし（それが）出来なくても、本当にアッラーは寛容にして慈悲深くおわします。

13.あなたがたは、私的な相談を始める前に施しをすることを尻込・するのか。仮にそれを行わず、アッラーがあなたがたに悔悟を赦された場合は、礼拝の務めを守り、定め喜捨をし、アッラーと使徒に従いなさい。アッラーはあなたがたの行う一切を熟知なされる。

14.あなたは、アッラーの怒りを被った人びとを友とする者に、気付かないのか。かれら（偽信者）はあなたがた（の仲間）でもなく、またかれら（の仲間）でもない。かれらは知っていながら、偽りの誓いをたてる。

15.アッラーはかれらのため、厳しい懲罰を備えられる。本当にかれらの行うことは大悪である。

16.かれらは誓いを（かれらの悪行の）隠れ場とし、アッラーの道から（人びとを）阻む。かれらは恥ずべき懲罰を受けるであろう。

17.かれらの富も子女も、アッラーに対しては、少しも役立たない。かれらは業火の仲間である。永遠にその中に住むであろう。

18.アッラーが、一斉にかれらを復活させる日、かれらは（現世で）あなたがた（ムスリム）に誓ったようにかれに（ぬけぬけと信者であると）誓い、かれらは（これによって）来世でも何とかなると思っている。いやとんでもない。かれらは本当に虚言の徒である。

19.悪魔がかれらを支配し、アッラーを念うことを忘れさせた。かれらは悪魔の仲間である。本当に悪魔の仲間は損失者である。

20.アッラーと使徒に反抗する者は、最も卑しい者の仲間である。

21.アッラーは、「われとわが使徒たちは必ず勝つ。」と規定なされた。本当にアッラーは、強大にして偉力ならびなき御方であられる。

22.あなたは、アッラーと終末の日を信じる民が、アッラーと使徒に反抗するような者と親交を結ぶところを見ないであろう。仮令かれらがかれらの父や、子、兄弟や親族であっても。かれはこれらの者の心の中に信仰を書き留められ、親しく聖霊によって強められる。また川が下を流れる楽園に入らせ、永遠にその中に住ませられるのである。アッラーはかれらを愛でられ、かれらもかれに満悦する。これらは、アッラーの一党（信者）の者である。本当に、アッラーの一党の者こそ、非常な幸福を成就する者である。

## SURA 59.集合章〔アル・ハシュル〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1.天にあり地にある凡てのものは、アッラーを讃える。本当にかれは偉力ならびなく英明であられる。

2.かれこそは、啓典の民の中の不信心な者を、その住まいから最初に追い出し放逐された方である。あなたがたはかれらが退去するものとは考えなかった。またかれらにしても、その咎だけでアッラー（の攻撃）を防げると思っていた。だがアッラーはかれらの予期しなかった方面から襲い、かれらの心に怖気を投げ込・、それでムスリムたちと一緒に、自分（自ら）の手で、かれらの住まいを破壊した。あなたがた見る目を持つ者よ、訓戒とするがいい。

3.アッラーは、仮令かれらに対し、放逐と御決めにならなくても、必ず現世においてかれらを懲罰なされる。また、来世においては（必ず）火獄の懲罰がある。

4.それはかれら（不信者）が、アッラーとその使徒に反抗したためである。誰でもアッラーに反抗するならば、本当にアッラーは懲罰に嚴重であられる。

5.あなたがたが、ナツメヤシの木を切り倒しても、またその根の上に立たせて置いても、それはアッラーの御許しによるもので、アッラーの掟に背く者たちを卑しめられるためである。

6.またアッラーが、かれらから（取り上げて）かれの使徒に与えた物は、あなたがたが、馬やラクダを駆りたてて手に入れた訳ではない。だがアッラーは、御望・の者を使徒の権限の下に委ねられる。本当にアッラーは、凡てのことに全能であられる。

7.アッラーが（敵の）村の民から得て使徒に与えた物は、アッラーの有であり、また使徒や近親、孤児、貧者、旅人のものである。それはあなたがたの中の、只富裕な者の間に専らわたらせないためである。また使徒があなたがたに与える物はこれを受け、あなたがたに禁じる物は、避けなさい。アッラーを畏れなさい。本当にアッラーは懲罰に嚴重であられる。